

国際協力事業団

ドミニカ共和国農地庁

ドミニカ共和国
公営農場跡地再開発計画調査

ファイナルレポート

(要 約)

平成15年8月

株式会社 三祐コンサルタンツ
八千代エンジニアリング株式会社

序文

日本国政府は、ドミニカ共和国政府の要請に基づき、公営農場跡地再開発計画に係る調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施しました。

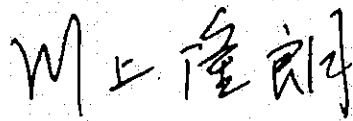
当事業団は、平成13年2月から平成15年7月まで、株式会社 三祐コンサルタント海外事業本部の長谷川靖徳氏を団長とし、同株式会社 三祐コンサルタント及び八千代エンジニアリング株式会社から構成される調査団を5回にわたり現地へ派遣しました。

調査団は、ドミニカ共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係者各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成15年8月



国際協力事業団
総裁 川上 隆朗

国際協力事業団

総裁 川上隆朗 殿

伝 達 状

今般、ドミニカ共和国公営農場跡地再開発計画調査が終了しましたので、ここにファイナルレポートを提出致します。本報告書は貴事業団と日本国政府関係者及びドミニカ共和国政府関係省の開発計画策定に関する助言と提言を反映し、計画対象地域の農村総合開発に関するマスタープランおよび 4 つのモデル地区において実施したパイロット事業について取りまとめています。

本調査はドミニカ共和国の全国に散在する 56 箇所の旧サトウキビ農場跡地を対象に、(1) カウンターパート機関である農地庁が農村開発を進めるための体制・組織のあり方を含む農村総合開発計画のマスタープランを策定すること、および(2)参加型調査を通じ、調査過程において行政、対象地域住民、新規入植者に対して農村開発計画策定及び実施方法に関する技術移転を実施すること、を目的として実施されました。

農村総合開発計画の策定過程においては、農地庁社会開発部や計画部職員らと緊密に作業を実施し、所得向上と生活環境改善に関するプログラム群を提案致しました。また、関係住民や農地庁職員とともにパイロット事業計画を策定し、実施することによって、技術移転を図るとともに、調査団も多くのことを学ぶことができました。

最後に、本調査の実施にあたり、御支援と御協力を賜った貴事業団と外務省に対し厚くお礼を申し上げます。また、ドミニカ共和国農地庁および関係省庁に対しても深甚の謝意を表します。

平成 15 年 8 月



ドミニカ共和国公営農場跡地再開発計画調査
調査団長 長谷川靖徳



グループA : ラ・ルイサモデル地区における地場産業育成パイロット事業の縫製訓練で作った衣服



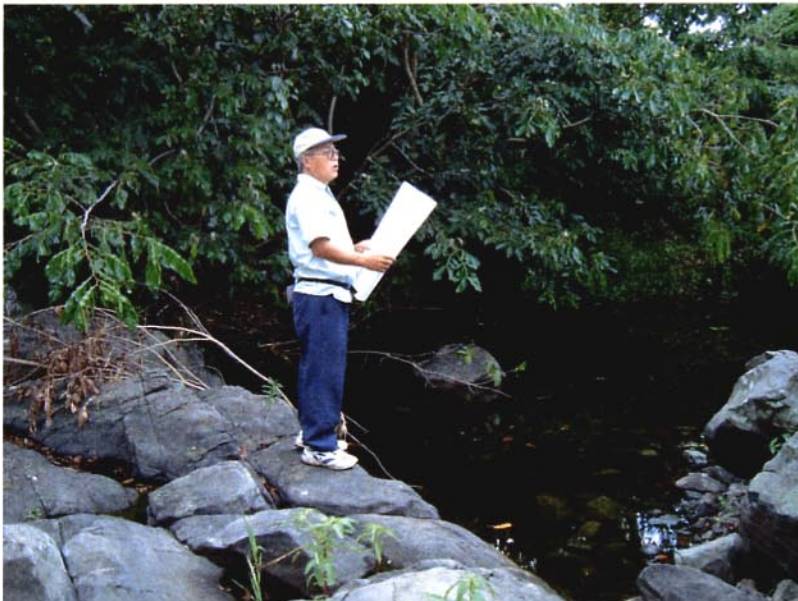
同上調理訓練



ラ・ルイサモデル地区の給水パイロット事業における受益者グループのポンプ小屋建設



グループB：ロス・アティ
ヨスIモデル地区における土
地利用計画支援パイロット
事業の牧草展示圃場



ロス・アティヨスIモデ
ル地区、小規模灌漑計画ミ
ニダム建設候補地（マスタ
ープラン）



ロス・アティヨスIモデ
ル地区水利用及び給水改善パ
イロット事業の深井戸試験
掘削（この水源を利用した小
学校への給水をNGOが実施
している）



グループC：エスペランサ III
モデル地区の灌漑水取水（ヤ
ケ・デル・ノルテ川国営灌漑
システムの一部で水利、土地
地条件がともによい。



エスペランサ III モデル地区
の流通・販売能力強化事業の
セミナー実施状況



エスペランサ III モデル地
区へのママティンゴ農民組
織による流通改善実施計
画の発表



グループD: タマヨモデル地区における農業基盤整備パイロット事業の水路整備工事（労力、現場資材は受益者負担、トラックは運輸業パイロット事業で購入）



同上パイロット事業で整備した末端水路灌漑（配分入植地の作付け面積拡大及び圃場レベルの水管理改善）



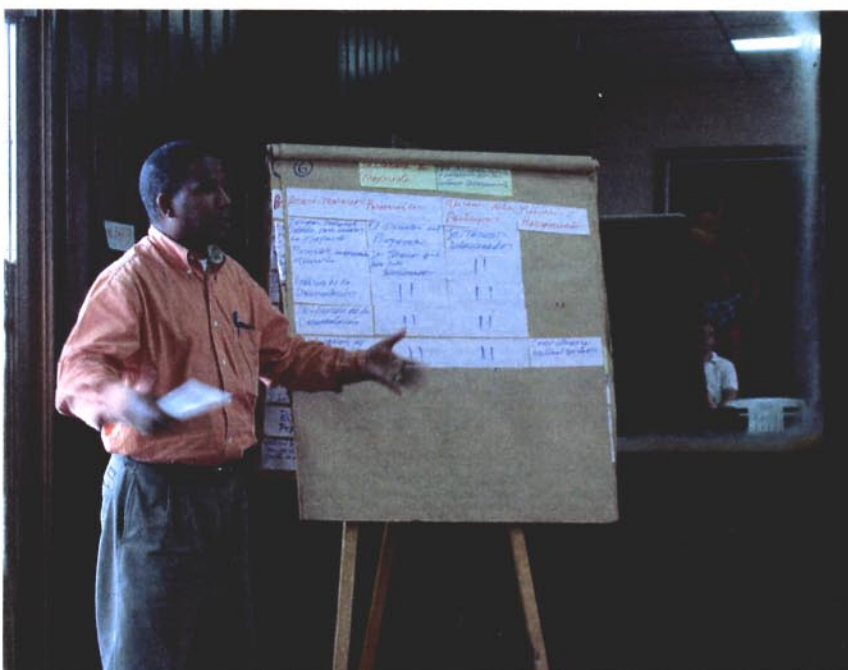
タマヨモデル地区の小動物飼育パイロット事業



参加型開発ワークショップ（ラ・ルイサモデル地区におけるマスタープラン実施に必要なアクション検討）



同上ワークショップにおける住民発表による村の開発についての夢



農地庁有志によるマスタープラン実施のための体制・計画検討案の発表